

浜松市教育研究会 音楽科研究部研修会
第1回音楽会研修会 報告

令和7年5月21日

【小学校】(会場:サーラ音楽ホール 多目的室)

今年度も浜松市歌の斉唱から始まるという、音楽科ならではの研修会のスタートとなりました。第1回目はリコーダー奏者の桐畑奈央さんを招き、リコーダーの基礎から実践的な指導法について学びました。まず、3年生での導入にあたって、姿勢と持ち方、息、タンギングの3つのポイントを丁寧に教えていただきました。子供たちがより理解しやすいよう、分かりやすい表現で伝えることや言葉遊びを使った展開例、授業時間内での手入れの仕方など現場で取り入れやすく、すぐに実践したくなる内容が盛り込まれていました。次に、教科書の中から曲の指導法を教えていただきました。基礎で習ったタンギングを使いながら、どうしたら吹き終わりが揃うのか、響きを感じられるのかなど、全体で演奏することで、その効果をより感じることができました。リコーダー好きの子が多く育つよう、日々の指導に生かしていきたいと思います。



【中学校】(会場:浜松市教育センター)

浜松市教育センターにて、教育芸術社の方によるICT講習会を行いました。今年度中学校の教科書が改訂されたことにより、指導者用デジタル教科書や二次元コードコンテンツがさらに充実したため、様々なツールの使用目的や使用方法をご紹介いただきました。生徒の主体的な取り組みを促し、学びを充実させるための機能を教えていただくことにより、学校の授業での活用方法を研修することができました。



さらに、各校に1~2人しかいない音楽科の教員同士が集まることにより、普段の授業実践の中でのICT活用について意見を交換することができました。また、普段の授業を振り返ると、ICTの活用について適切な使用方法や使用のために必要な準備などを学ぶことが少なかったため、演習を通して実際にデジタルコンテンツに触れ改めて学ぶ良い機会となりました。ICTの活用によって音楽の学習を聴覚のみではなく視覚的にも深め、生徒がよりよい学び方を選択できたり、興味を持って取り組めたりするよう努めていきたいです。今後も「主体的に音楽と豊かにかかわる生徒の育成」を目指して、ICTの効果的な活用のあり方を模索していきたいと思います。

